

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 14日

事業所名: 児童デイサービスここから

保護者等数(児童数)

18人 回収数

15人

割合

83%

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13			2	・広くて子供たちものびのびできていると思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	4		2	・子どもの事をよく見てくださって安心しています。 ・スタッフの専門性にはバラつきがある。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12			3	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14			1	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	15				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	1			・グループ療育なので難しい点がある。
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	15				・色々なプログラムに子供も楽しそうです。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	7	6	・特に必要と思っていないです。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14			1	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14			1	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われているか	6	3	3	3	・プログラム(ペアレントトレーニング)はないですが、フィードバックや面談などでいつもアドバイスいただいています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15				・何かあればすぐに伝えてくれるので安心できている。 ・活動を動画で見せてもらって非常にわかりやすいです。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1			・いつもじっくりと丁寧に話し、子どもの問題や保護者の気持ちにも寄り添ってくださり救われている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	5	3	・保護者会では活動の様子も見る事が出来て嬉しかった。 ・コロナ禍のため
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13			2	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13			2	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	2		2	・ホームページが新しくなり見やすくなりました。
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	12			3		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	2		6	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2		7	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	15				・保育園の先生より、ここからさんに行くよ〜と声をかけると笑顔でリュックを持ったり準備をしているとお話を伺っています。 ・とても楽しみにしています。 ・毎日通いたいと言っております。
	23 事業所の支援に満足しているか	14	1			・日頃療育後の自宅の様子等を気遣ってくださったり、子どもの選択に合わせた療育を提供して頂けると実感しています。 ・先生方はいつも笑顔で感じがよく、一生懸命子ども達に接して下さっているのが伝わります。 ・職員皆さま、笑顔で迎えてくださるのが嬉しいです。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		・広さはあるが、細長い独特の形をした部屋であるため、活用に工夫が必要。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	・午前クラスのメイン(担当職員)の欠員を、管理者が補っていることや、午後クラスを上手くまとめられないため人手が必要になった。 ・基準より多めに配置されているが、活動の内容によっては人手が必要となる。複合施設であることを活かし、他部署との協力体制を築いていきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	・トイレが療育室外にあり、自分の意思だけでは行き来が出来ない。 ・バリアフリーは配慮されていると思うが、児童の生活空間としては工夫も必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	・療育後の清掃、食毒は必ず行っている。経年劣化による傷、木材の乾燥による割れが見られる部分もあったが、何度か修繕を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	・施設長から非常勤職員まで参加して会議を行う機会も多いが、その分時間を圧迫してしまうことも多い。業務改善には効率化も考えていかなければならない。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	・保護者のご意見は大変ありがたく受け止めてさせていただいてはいるが、改善は少しずつという形でしかできないため、長い目で見て頂ければと思う。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	・アンケート結果をHP上で公開し、事業所としての意見を載せているが、支援の質の評価や改善報告までではできていない。最近、施設ブログが開設されたので、身近な広報としてぜひ利用者様に見て頂ければと思う。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	・今回初の試みなので、結果はまだ。 ・保護者の皆様にもご協力いただき、今年度初めて第三者評価を受けることができた。客観的に事業所の現状を見てもらえることは大変ありがたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	・機会や研修を受けることは出来るが、業務量が多くてなかなか難しい。 ・常勤職員は外部研修を受ける機会もあるが、非常勤職員は事業所内研修と音楽療法士や心理士によるOJTがメインとなる。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	・保護者のニーズの聞き取りと児童の発達状態の観察をし、そのうえで当事業所で何ができるかを考えている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	・標準化はされていない。 ・発達検査の勉強をして、それも活用する方向でいます。 ・事前の保護者からの聞き取りで、だいたいこのくらい、という課題を用意している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	4	・ガイドラインを最近読んでいないので、読み合わせる必要がある。 ・ガイドラインと照らし合わせているわけではないが、「発達支援」については概ねガイドラインで示している内容となる。「家族支援」や「地域支援」については、療育のフィードバックや日中通園先との連絡等、取り組める範囲で取り組んでいるが、特段の背景がない限り、児童発達支援計画(個別支援計画)上に記載する性質のものではないと感じる。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	2	・出来ている所とそうでないところがある。 ・非常勤職員に至るまで計画の内容は周知されているが、日々の振り返りの中で計画とその実践の再確認は必要かもしれない。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	・話し合う時間が適宜とれないが、極力話すようにしている。 ・常勤職員が中心となっているが、非常勤職員も積極的にアイデアを提供してくれる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	・固定化しないようにはしているが、長期的に取り組むプログラムもある。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	0	・集団活動がメインになるが、子どもの興味や状況に応じて遊びの中で個別に対応はする。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	・毎回必ず行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	・毎回必ず行っている。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	・検証、改善までにはいたらない。 ・記録の在り方も見直す必要があると感じている。	

関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	・モニタリングの時期には支援にあたっている職員へ聞き取りを行い、計画の見直しをしている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	・基本的には児童発達支援管理責任者が出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	・わからない。(空欄) ・保育園や幼稚園、相談支援専門員等と連携を取ることが多いが、すべてのケースで行なえているわけではない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当せず
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当せず
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	・わからない(空欄) ・移行支援として、就園に際して情報共有が行えていない。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	・わからない(空欄2) ・就学に際して、就学支援シートの作成を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	・子どもによる。 ・担当者会議がない場合も、情報を共有することはある。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6	・コロナ禍で機会が減ったが、午前クラスの散歩や外遊びの場面であり。 ・公園や児童館で触れ合うことがある程度であり、積極的な機会創設には至っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	6	・わからない。(空欄) ・自立支援協議会へは施設長が参加している。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	・フィードバックを通じて情報共有をさせていただいている。ともにお子様のことについて考えていける存在でいたいと思う。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	0	7	現在、ペアトレを行える技量をもった職員が在籍していない。フィードバックにおいて成功事例の共有をしたり、日常的な相談に乗ったりすることができればと思う。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	・契約時に説明を行っている。また、運営規程を変更する必要がある際(営業時間の変更等)は保護者会で報告している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1	・ガイドラインと照らし合わせているわけではないが、発達支援については基本的にガイドラインと大きく外れることはない。保護者や支援にあたっている職員からの意見を参考に目標の設定をしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	・保護者から寄せられる悩みには、できるかぎり寄り添いたいと考えている。必ずしもその場で的確にお答えはできないかもしれないが、一緒に考えていければと思う。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	・保護者会は開催しているが、コロナ禍ということもあり、保護者同士の交流を深める場を提供できていない。来年度はもう少し柔軟に保護者同士で交流できる場を用意していきたいと思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	・日常的な相談についてはフィードバック等を通じて受けたり、児発管に相談を回している。苦情については、管理者や行政の窓口と連絡いただくよう契約時に案内している。また、施設内に苦情解決制度の掲示をしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	・会報は発行しているが、行事予定や連絡体制等は発信していない。 ・施設全体の会報や、ブログ等で近況報告等はしている。連絡体制や行事(避難訓練等)については別途(紙面、口頭問わず)お知らせをしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	・個人情報の守秘については、職員に入職時と退職時に誓約書を書いてもらっている。また、写真についても使用範囲を限定し、使用する際は確認を取っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	・絵カード等を用い、視覚情報によって意思疎通がスムーズに図れるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	5	・例年地域住民を招待して、ここからまつりと言う形で施設イベントを開催していたが、コロナの影響によりしばらく休止している。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	・保護者に周知はどこまで周知するのか。 ・コロナウイルスやノロウイルスの感染マニュアルはあるが、もっと広範に対応できるよう検討中。また、防犯マニュアルは整備できていない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	・年二回、消防訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	・保護者への聞き取りで確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	・わからない(空欄) ・基本的に医師の診断を受けた保護者から対応の説明を受けている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	・ヒヤリハットは作成し、事業所内で共有している。また施設全体の委員会でヒヤリハットの検討を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	・年に二回、事業所内研修を行っている。非常勤職員も含め、虐待防止や権利擁護について考える機会を確保している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	1	・計画にまでは記載していない。 ・身体拘束については、切迫性・非代替性・一時性を要件としている。児童における身体拘束について、公園で道路に飛び出さないように手をつかんだり、走り回る子ども同士で衝突しないように抑えたりといったことがあるが、そこまでを個別支援計画には記載していない。そういったケースがあることは契約時に説明している。